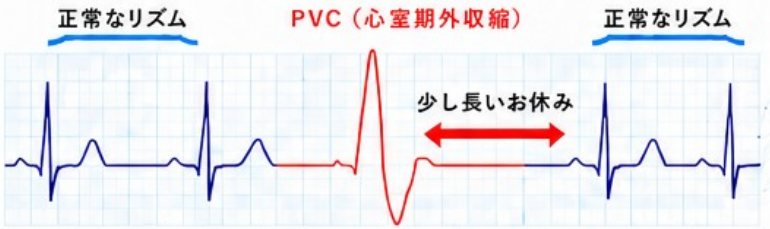
不整脈の正確な診断と最適な治療を。

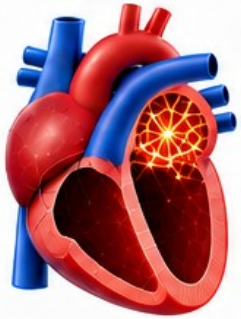
動悸・脈の乱れ・めまい・失神などの症状はありませんか？
不整脈の早期発見・早期治療で、脳梗塞や心不全、突然死のリスクを減らし、
健やかな毎日をサポートします。

心電図（心室期外収縮：PVCの例）



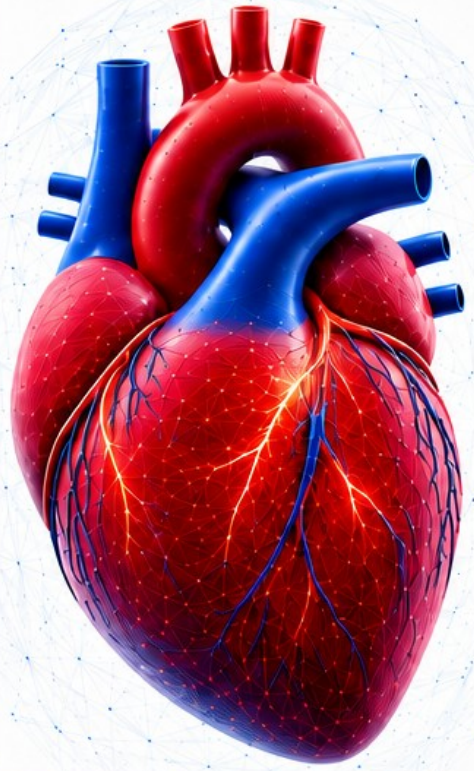
不整脈の種類を的確に診断します。

心房細動（AF：Atrial Fibrillation）



心房細動の心電図波形（例）

左心房内の電気信号が無秩序に乱れることで、
脈が不規則になり、脳梗塞のリスクが
高まる不整脈です。
早期発見・適切な治療が重要です。



包括的な診療とフォローアップ

生活習慣病や睡眠時無呼吸症候群など、
不整脈の背景となる要因にも着目し、
再発予防まで見据えた包括的な診療を
提供します。

不整脈に対する当院の取り組み

不整脈専門医による正確な診断と最適な治療を提供します。
5,000例以上のカテーテルアブレーション治療の経験を活かし、
専門的な視点から診療を行います。

カテーテルアブレーション後の患者さんのフォローも行っております

再発の早期発見や薬剤調整などを含めた継続的なフォローを行います。

再発の早期発見

薬剤の調整

心電図・長時間心電図
による経過確認

生活指導・再発予防
リスク因子の管理

デバイス治療後の患者様を継続的にサポート

以下のデバイス治療を受けられた患者様のフォローアップ・管理を行っております。

ペースメーカー術後

定期的なチェックと
適切な設定・管理

ICD（植込み型除細動器）術後

デバイスの作動確認と
継続的な経過観察

主な対象となる不整脈

- 心房細動（AF）
- 心房粗動（AFL）
- 発作性上室性頻拍（PSVT）
- WPW症候群
- 上室性期外収縮（PAC）
- 心室期外収縮（PVC）
- 心室頻拍（VT）
- 心室細動（VF）
- 洞不全症候群（SSS）
- 房室ブロック
- Brugada症候群
- QT延長症候群
- 早期再分極症候群など

動悸、脈の乱れ、めまい、失神などの症状がございましたら、お気軽にご相談ください。

画像はイメージ画像です。